

奈良西ノ京「薬師寺」で新入職員研修を実施 ～ 加藤朝胤管主の法話「天武天皇と聖武天皇」を拝聴 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は、10月20日（木）、奈良西ノ京「薬師寺」において、新入職員の研修を実施しました。

本研修は、新入職員研修の一環として毎年実施しているもので、新入職員が「心の教育」に参加しました。

最初に同寺加藤朝胤管主の「天武天皇と聖武天皇」と題した法話があり、薬師寺建立に込められた願いとともに、喜びと感謝、敬いの気持ちを常に持って毎日を過ごす大切さを学びました。

その後、同寺伽藍の見学を行い、三蔵法師が西方の天竺に向かう時の「不東」の精神の説明を受けました。「不東」とは、「経典を持ち帰るという目的を果たさぬうちは、決して東方（唐）には一歩も後戻りしない」という強い決心、気概を示した言葉であり、目標達成への努力し続ける姿勢を学びました。研修の最後には写経を行い、心を静めて物事に集中する重要性を体得しました。

新入職員にとって、今後の業務に向けて決意を新たにすると大変有意義な研修となりました。

記

1. 実施日 令和4年10月20日（木）
2. 場所 法相宗大本山 薬師寺（奈良市西ノ京町）
3. 内容 (1) 法話 加藤朝胤管主
(2) 「般若心経」読経と解説
(3) 伽藍見学
① 玄奘三蔵院伽藍（「不東」扁額（※）、玄奘塔、大唐西域壁画殿）
② 白鳳伽藍
(※) 玄奘三蔵院 玄奘塔の「不東」扁額は、同院の落慶を祝って、当金庫が平成3年に寄贈。
(4) 写経
4. その他

当金庫には、薬師寺にて写経をする顧客組織「シティ信金写経会」があります。同会は昭和52年の発足以来、毎月8日に開催し、写経を通じて多くの方々に心の安らぎを感じていただいています。



加藤管主の法話の様子



玄奘塔「不東」扁額の説明を受ける新入職員

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

